

IPOを目指すメリットとは？

①社内管理体制の強化

上場準備の際、審査対応に対応するため内部管理体制の整備、上場後も迅速かつ正確な会社情報の開示や上場会社としてのコーポレートガバナンスへの対応などを行なうことで、結果として経営基盤の強化につながります。

②知名度や社会的信用の向上

株式を上場させることで、株式市場欄をはじめマスコミを通じ、企業名・商品名や経営に関する事項等の報道の機会が増加し、その結果、会社の知名度が向上します。また信頼度向上により、取引条件の緩和や金融機関との取引が有利となる可能性があります。

③社員持株制度の導入・福利厚生の向上

業績アップによる企業価値の向上に連動して、社員の個人資産（保有株）も増加します。

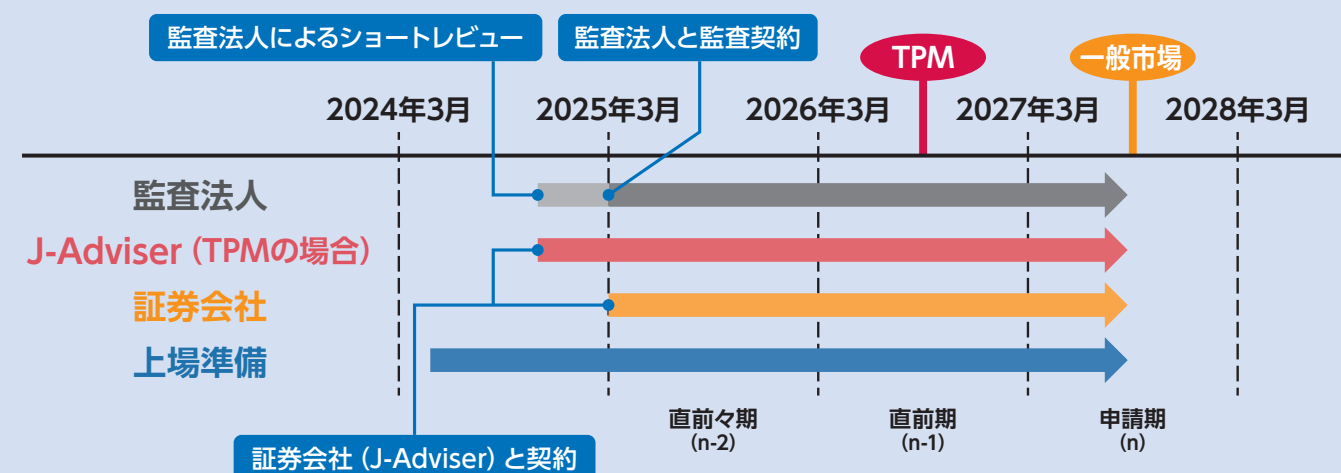
④オーナーメリット

IPO時にオーナーが所有株を一部売却することで、利益の確保が可能です。上場するタイミングで基本的に個人保証が外れることとなりますので、承継時の視点でもメリットとなります。

⑤資金調達の多様化と財務内容の強化

金融機関からの間接金融に加え、市場の流通性を背景に、証券市場の機能を活かした多様な資金調達が可能になり、企業の財務体質の強化、時価総額の向上、事業の積極投資が可能となります。

IPOまでの流れ



Point 一般的には**3年～5年**のIPO準備期間が必要

このような方におすすめ

●IPOを検討しているが、自社でも可能かわからない

➔IPOを実現するために必要な業績規模について解説します！

●IPO準備を始めたいが、何から始めるべきかわからない

➔IPO準備において気を付けるべきポイントやスケジュール感について解説します！

●実際にIPOを実現した会社の事例を知りたい

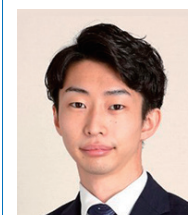
➔複数の事例を通してIPOの実情について解説します！

講師情報



株式会社船井総合研究所 IPO支援室 マネージング・ディレクター 宮井 秀卓

2002年10月～2006年5月 株式会社東京商工リサーチ
2006年 6月～2018年3月 株式会社モバイルファクトリー
株式会社モバイルファクトリーにて経営企画室長としてIPO準備を担当した後、取締役として、2015年3月に東証マザーズ上場。
2017年6月に東証一部上場を経験。
2018年4月より株式会社船井総合研究所にて、マネージング・ディレクターとして従事。



株式会社船井総合研究所 IPO支援室 IPO支援ユニット 菊池 説希也

大学卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。入社後は、Webマーケティングを用いた集客最大化・集客業務の効率化の業務に携わる。2020年8月よりIPO支援部署に参画。前部署で培ったWebマーケティングの知見を活かしたIPO支援の認知拡大、クライアントのIPO準備の支援を行なっている。



株式会社船井総合研究所 IPO支援室 IPO支援ユニット 乗次 輝哉

大学院修士課程修了後、株式会社船井総合研究所に入社。
学部時代にはカーシェアリング事業を行う企業と提携し、企業の課題解決に取り組む。
最終成果物として、利用者数増加と顧客体験改善に必要な項目をまとめたロードマップを作製。
大学院では科学技術社会論を専攻し、広く科学技術と社会の間で生じる問題について研究を行う。
入社後は、アソシエイトとしてIPO支援業務に従事。

お申込み方法

右記のQRコードを読み取りいただき、お申込みフォームよりお申込みください。

セミナー情報は当社ホームページからもご覧いただけます！
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/112916>



セミナーの
お申込みは
こちらから

